

サウンド・デザイン

福岡女学院大学 2021年度 前期 木曜2限 第2週

松浦 知也 (teach@matsuuratomoya.com / teach.matsuuratomoya.com)

音について知るために

音の聴き方を考える

本日の授業構成

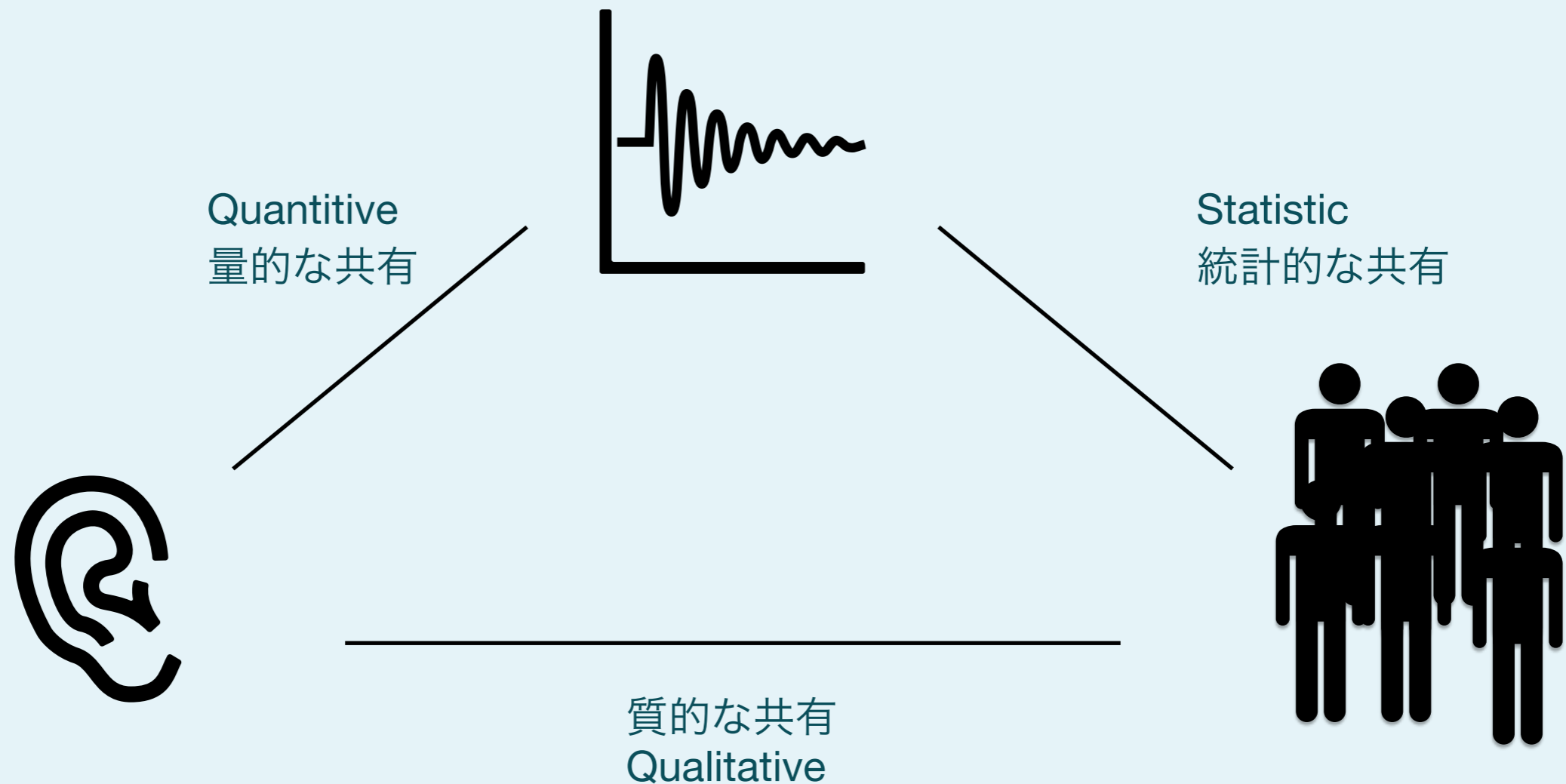
前回の復習

音の聴き方を考える

レッスン:Ear Cleaning

音の言語化・分類・モデリング

復習：この授業で学ぶ事



- 音を作るための&音をデザインする上での判断基準になる
身体感覚、知識、共通言語を身につける

- 自分の意図した通りの音を聴かせるには、
その音が人にどう聞こえているか？を考える必要がある
- その為には、**自分がまず音をどう聞いているのか？**
について考えて、人と共有できるようにすることが大事

今日考えるところ



量的な共有
Quantitative

統計的な共有
Statistical



質的な共有
Qualitative



レッスン1

教室の中の音を書き出す

- メモ帳を用意（スマホのアプリとかでも可、後で提出します！）
- 家の中を歩き回って、聞こえた音を**なるべく全部**書き出す
- 自発的に音を出す行動を取らなくて大丈夫、聞こえたものを
- 音を言語化するときは、わかれば音の音源を書き、擬音、比喻、音の特徴でどんな音かも書く（音源がわからなければどんな音かの記述のみでOK）
- まず5分間やってみる、その後ヒントを出します
- 敢えて例を挙げません！正解は無いので気を張らずに

テキストを共有してみよう

- Google Docsにメモしたテキストを貼って共有します
- 手書きの人は写真撮ってアップでもよし(解像度に注意して)
- 他人のテキストから音の風景を想像してみる
- 自分は使わなかったけど使えるかも、と思った単語や表現は？

レッスン2

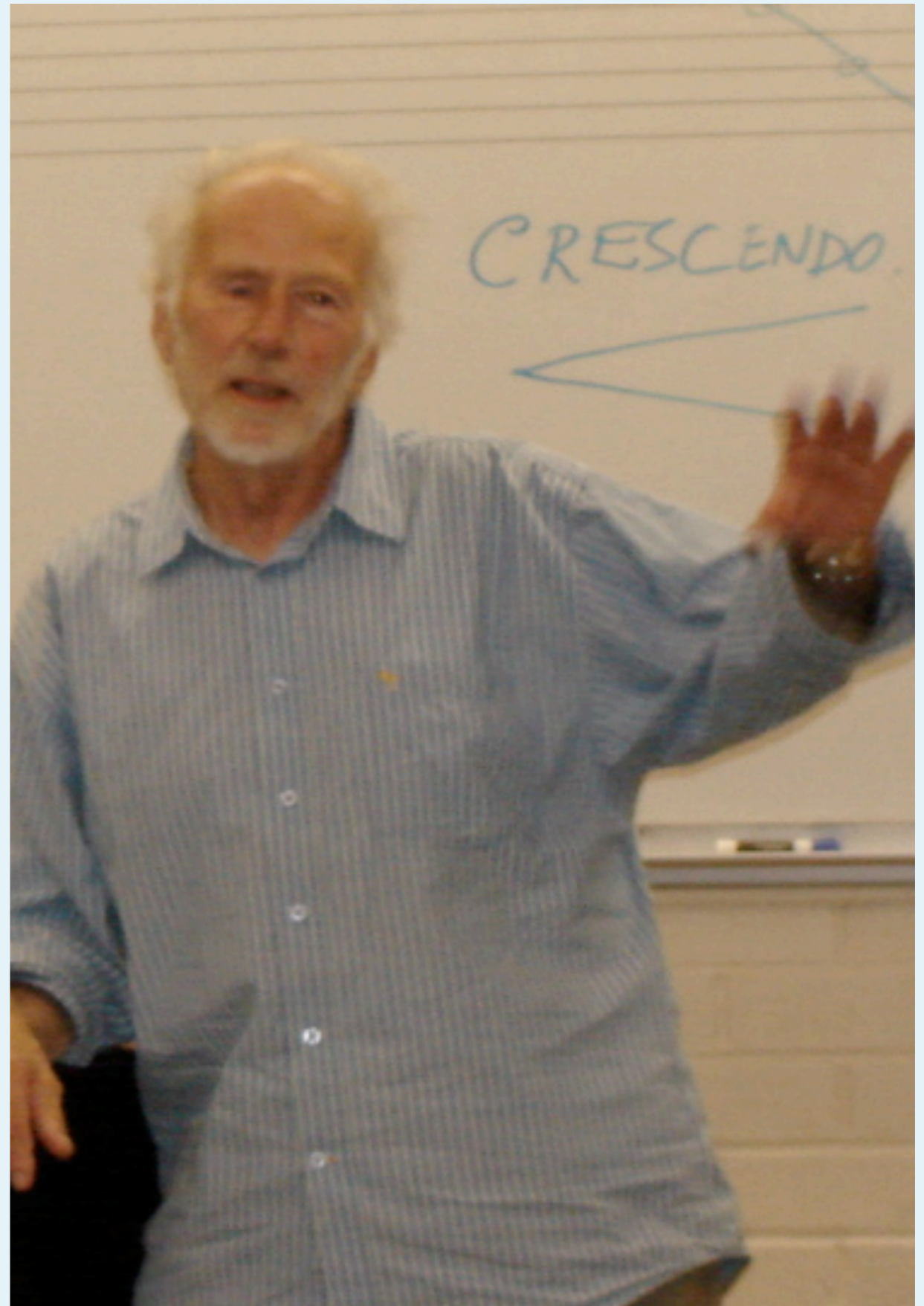
屋外の音を書き出す

- 次は教室の外を散歩してみよう
- 15分間、Social Distanceに気をつけて
- 5分以上はどこかで「定点観測」を試してみよう
- よくわかんなくなってきたら書き出すのを止めて聞くことに集中
- 30秒間ぐらい耳を塞いでからもう一度聞いてみる
- 目を閉じてみる
- 頭、体の向きを変えてみる、高さを変えてみる

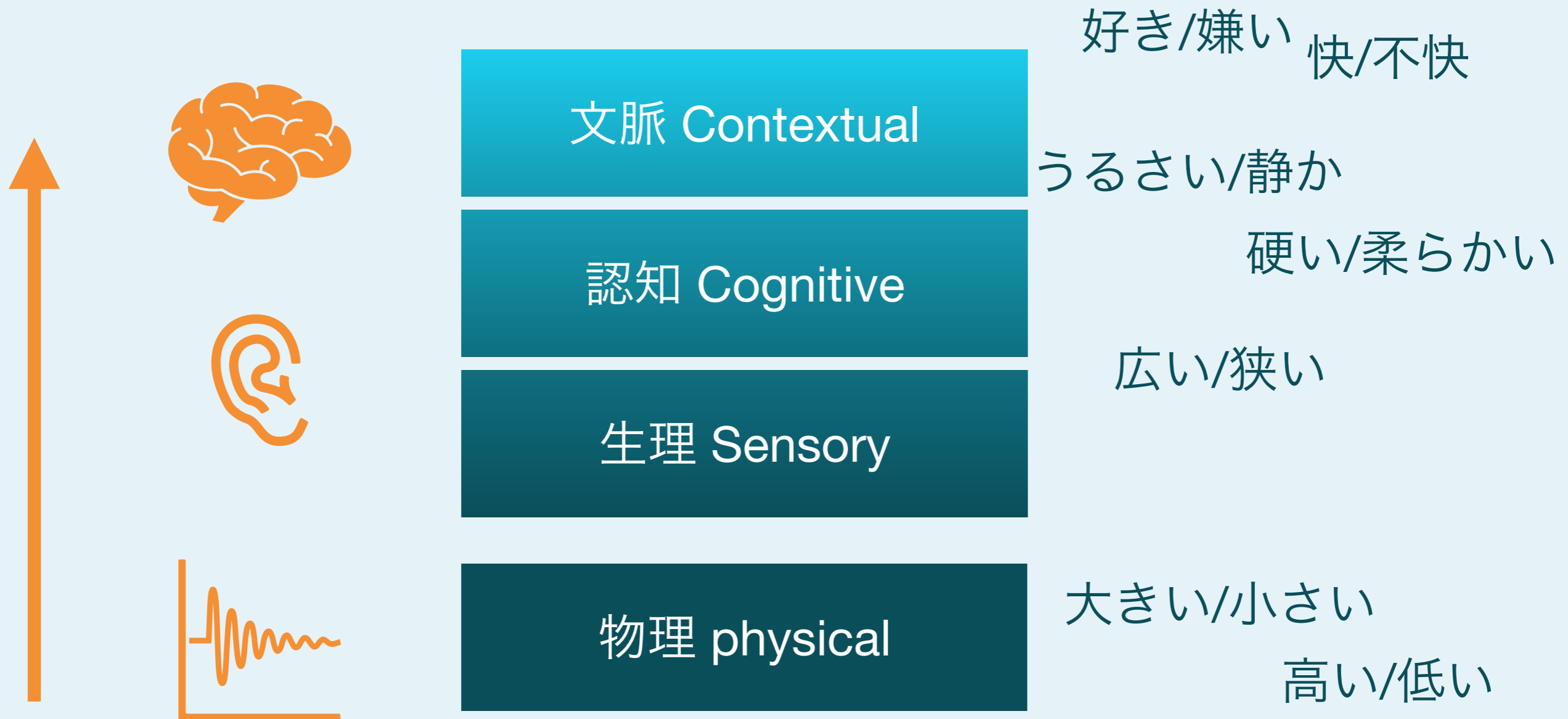
R. Murray Schafer

「サウンドスケープ」の提唱者

- Soundscape
= “Landscape”(風景)の音バージョン
- 今回のレッスンの元ネタは彼の“Ear Cleaning”というワークショップ



聴取体験のレイヤー



聴取体験のレイヤー

SAMPLE SOUND	ACOUSTICS	PSYCHOACOUSTICS	SEMANTICS	AESTHETICS
Alarm bell	Sharp attack; steady-state with rapid amplitude modulation; narrow band noise on center frequency of 6,000 hertz; 85 decibels	Sudden arousal; continuous warble; high pitch; loud; decreasing interest; subject to auditory fatigue; sensitive pitch area	Alarm signal	Frightening, unpleasant, ugly
Flute music	Interrupted modulations of shifting frequency; near pure	Active patterned sound of shifting pitch;	Sonata by J. S. Bach; inducement to sit down and listen	Musical, pleasant, beautiful
Flute music (continued)	tones with some presence of even harmonics; varying between 500 and 2,000 hertz; 60 decibels	melodic contour; pure tones; highish register; moderately loud		

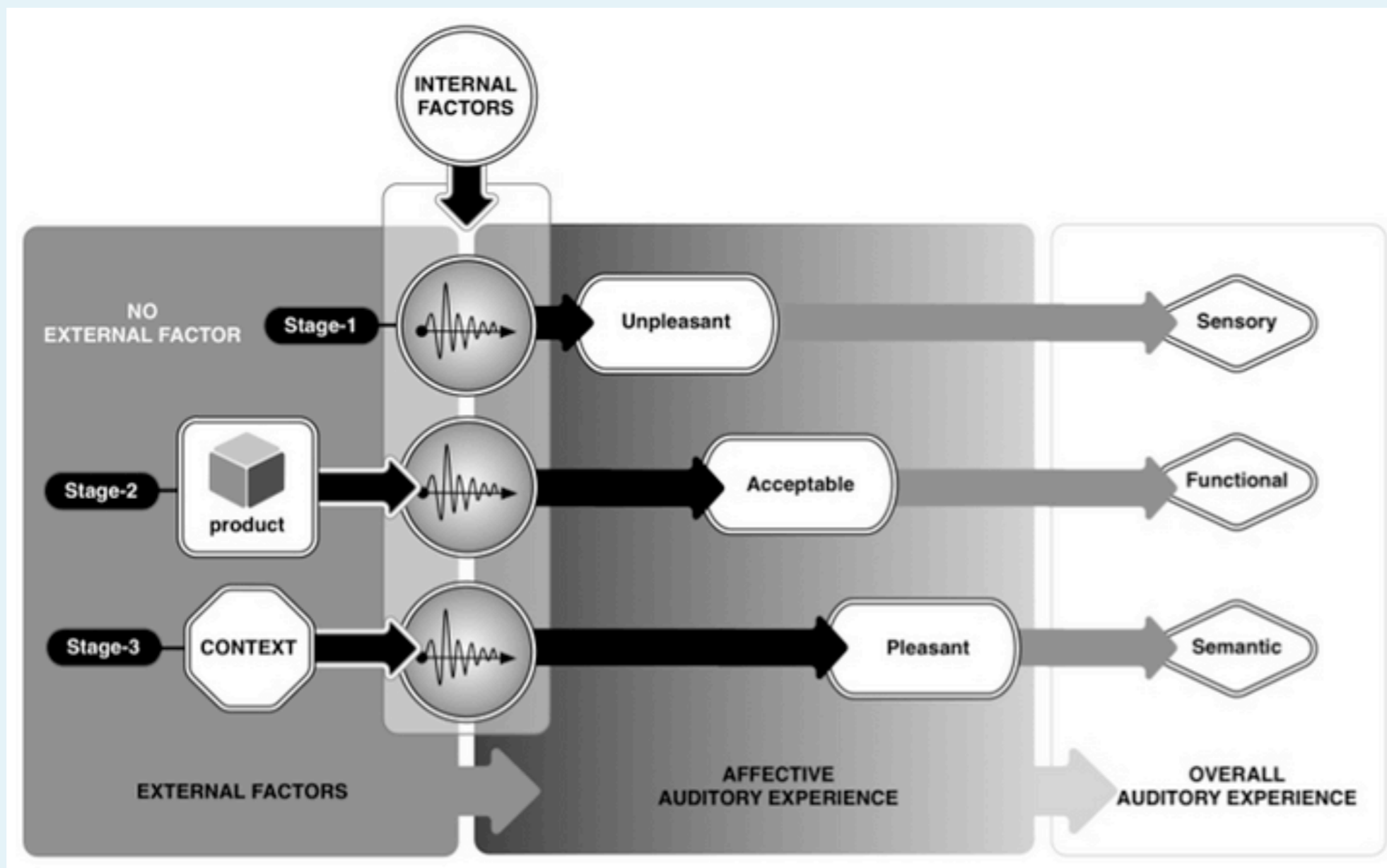
The Harley Effect^[2]

「良い音」は文脈で逆転しうる



Photo by [Alvin Mahmudov](#) on [Unsplash](#)

聴取体験のレイヤー



音をトリガーに情報を再生する

- 「音を聴く」という体験には何が内包されているか？
 - 能動的聴取と受動的聴取
 - 行為としての音楽：ミュージッキング
- 音を聴取することで頭の中で情報が再生されている、と考える
 - その情報は他人にも共有できるものか？
 - その情報はどのくらいの時間経過で共通しているか？

本日のまとめ

たまに考えてみて欲しいこと

- 自分は普段どんな音に囲まれているか？
- その音たちをどうやって言葉にしているか？
- その言葉は他の人にも、他の状況でも共通して使えるのか？

出典

- [1] Schafer, R. Murray. The Soundscape: Our Sonic Environment and the Tuning of the World The Soundscape: Our Sonic Environment and the Tuning of the World(1977),ISBN: 978-1-59477-668-7
- [2] Elif Özcan, ‘The Harley Effect: Internal and external factors that facilitate positive experiences with product sounds’, Journal of Sonic Studies, 06 (2018) <https://www.researchcatalogue.net/view/242114/242115/0/0> [accessed 06/05/2020]